

赤倉合宿

至 昭和十六年十二月廿日 午前七時半
自 昭和十六年十二月

合宿隊員

十二月廿日 隊長 3F 渡辺 宏助
3C 梅野 武康
3A 鈴木 登紀男
3D 追 登
3C 田中 健次郎
3C 前田 正男
2D 市浦 浩
2C 羽鳥 哲郎
1A 堀米 鉄也
1D 佐伯 一
1A 馬場 英夫
2A 相馬 龍三
2A 武田 亨
3C 山口 芳久

21日夜

24日朝

} 23日朝

23日夜

十一月廿日 晴後雨

上野驛に山本勘定君が霜を踏んで見送りに来た。
一二年の諸君も頼もい、顔を見せて見送りに来てくれた。
車中で皆愉快に、山男らしいやうと申合せた。
思ひ出の赤倉へ、思ひ出のある道今は目の前に
在る。

十一月廿一日 快晴、夜雨。

や一日の朝、Schedule に従って、6時半に起きる。
七時より朝礼、宮城退釋、點検。玄関前廣場
を踏み固め、元気な号令で体操をやる。
学徒の賜つた勲章を唱をやる。
濃いブルー色の空に、くつきと妙高が朝焼けの姿
見上げさせる。

八時半 銀座スローソ集合。

金制動滑降、半制動滑降、回転、盤練習開始。
リーダー渡辺、梅野の名コ-4で走て、順番に南側
斜面を滑る。僕は金制動のコ-4をやつた。一昨年岩原
でのネーロン合宿で、櫻木さんからコ-4を教えた気持ちでやつた。

「半制動滑降」

かんとか、「谷側の方に重心かける」とか
何とか、「まづくせ」をねじる。
七口の人は、見やう見真似いで覚えた
から、口で其の気持ちを表現するより、
実際に身で滑った説明の方が
やり易い。

コーチヤードにそんな所がないはず。
本も読んだ方がより上達は早いとは
疑うべくもない。

五時頃 前田が一人でへと（れなつて）
到着。馬車で出迎へるとよかったです。
自と自分と 金中庄ゲレーデの下庄
出迎へた。早速デカイリュウクとスキー
を受取つて、「僕等の合宿比較だよ。」
と得意になつて案内する。

金中から来る友を合宿の一員とい
て迎へる気持ち ~~（）~~。
玄関に着くと「わあ」と去迎へ
れる。それで一しきりやう（木）
「ピターン鳥占鏡だぞ」、「うかり津川な。
「あ、り、越後朱美咲（ウマイゾ）」
「本当かー。」

十二月廿二日(月曜日) 曇 時々霧

稍々遅れて起床。建国体操ラヂオ体操を行ふ。
待望の雪は降らず雪は益々融けた一オである。一同
がつかりしてコタツに入つて雑談。

10時半頃元氣ある者數名観光ホテル前スロープ、
宮林スロープ、銀座スロープにてローンスキーや遊び滑
降を行ふ。

天候悪く雪は融けただけで土や草の出でる所多し。
午後一同風呂へ入つたり、菓子を食つたり、漫談をやつ
たりに遇す。昨日の汁粉の味に飽き足らずスキーにあらず
して汁粉食ひに出来也る者あり。

夜ゼスナヤーをして遊ぶ。

本日は実にスキーには何から一日であつたが合宿といつて
楽しい一日であつた。相変わらず梅野はつまらぬことを云つて
人を笑はせし、前田は例の如くであり、田中はずつかり
銀座山スキーに迷走つたり、猪口は隠居さんであり、直はね
えほがさかになつたり、市浦はすまたなり以下-----
山口が来ると思ったが来なかつた。

拾貳月廿三日(火曜日) 晴 [追記]

例の如く朝食と食べて「デラ斧」の用意をしたと
相馬、武田の両君がやつて来た(約八時頃)。今時亦
幸運らしい晴天である。雪、少い場合がつづく。みんな何なん
とか嬉しいことであらうにと、又しても今年の雪の少さが少しうめ
しい。雨が降つても雪が降らなければいいんだから……。
でも今朝は珍しく空気が冷い。それ丈増したのかしらね。
昨日前田君と二人で偵察して来た観光ホテルの前にゆくことに
決める。オルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルル
で最後には稍急になつた道を、一糸あまりも歩かなくてはならん
のだから……。野尻湖から朝早くに朝霧、白根、菅平
その他見らばすべの山々が一色にかすんで見える。
大気が冷い故か、雪の條件が今日は最も宜い。滑つてゐる人を
見つかりず。尤も去年の今頃に較べて、一割ほり遅くな
ほじ。就中帰人の姿はとんと見付けぬ。余り広過ぎても、狭過ぎ
全々居ないのは又淋い。何か角鏡の一部が外れたりやうな、物
たりない気持ちである。割合、えき斜面で、皆の直滑降の
練習を行。佐伯、馬場、坂井元連、上達、なかなかいい
まい。晝食を摂りに宿まで帰る。之は随分不経済を
こねた。三時間の第五回時間と相馬の努力を要するから。
午後のオーテル前にこの練習は、あれと思はせるが、雪でスピードが
自由に走れないので、帰りのバスを下降は車各宿へ向けて大
レスであった。午後山に木が不意に来た。

12月24日(水曜日) 晴後雨
朝食終つてお茶といふ頃、羽鳥来る。一同
萬光前スローパにて練習。午後にになると雨入雪入
降りしき様とはあるが雪はとける一方だ。
中食をとりに戻った頃から雨らしくなつたので一同
ニテ、こゝにまわつて詰へる。三時半頃 特殊の雨
酒井先生を向へて行へた渡辺前田鉢木連はどう
うしてゐるだらうか。夜になつても電灯がつか
ぬ。ニュースを見てみるとすぐ點いた。雨の中を
先生と何への一歩が戻つてくる。今夜中に雪になら
ぬと明日からは練習が來やすくなる。